

箕面ビジターセンターだより

～明治の森箕面国定公園の自然と生き物～

秋の特集号
(10月・11月・12月号)

明治の森箕面国定公園は四季折々に多様な生物がみられます。このパンフレットは国定公園に生息する生き物たちと、彼らの暮らしを紹介しています。

箕面の森の秋 秋の深まりとともに箕面の森は色づき始めます。爽やかな秋晴れのハイキングでは、太陽の光を受けると輝くような赤や黄色に紅葉した美しい森を歩くことができます・



多様な樹種がつくる箕面の紅葉



ヤマハゼ



アカシデ



ダンコウバイ



タカノツメ



コシアブラ



チドリノキ



ウリハダカエデ



イロハモミジ



イタヤカエデ



コハウチワカエデ

実りの秋—木の実いろいろ 秋になると、様々な木の実が熟します。赤い実をつける木の実に、一両から万両まで名前がつけられているものがあり、縁起物として知られています。ヤブコウジやアルドオシは小さいですが樹木の仲間です。



ムラサキシキブ



イヌザンショウ



タマミズキ



コバノガマズミ



シャシャンボ



シロダモ



アオキ



マンリョウ(万両)



センリョウ(千両)



カラタチバナ(百両)



ヤブコウジ(十両)



アルドオシ(一両)



クサギ



ビナンカズラ



クマノミズキ



ソヨゴ



ウバユリ 花



種子



センニンソウ 花



種子



ゲンノショウコ 花



種子



テイカカズラ 花



種子

秋に咲く花たち

ビジターセンター周辺では秋にも様々な花が咲いています。花が咲くと、花粉や花蜜を求めて虫も訪れます。



カリガネソウとヒメクロホウジャク



コウヤボウキとキンケハラナガツチバチ



ホトギス



アキチョウジ



ヤマハッカ



センブリ



ヤマラッキョウ



ノコンギク



ヨシノアザミ



キチジョウソウ



リンドウ



アケボノソウ



ナギナタコウジュ



レモンエゴマとオオハナアブ



ミズヒキ



ヒヨドリバナ

秋に飛来する冬鳥 秋は鳥たちの渡りの季節です。夏に箕面で子育てを終えた夏鳥たちが南に渡っていき、入れ替わるように冬鳥が越冬のために訪れます。



ジョウビタキ ♂



♀



ルリビタキ ♂



♀



シメ



シロハラ



アトリ



ウソ



ミヤマホオジロ



ツグミ



トラツグミ



キクイタダキ

道沿いの植物を見てみよう 国定公園を歩いていると、特定の植物だけが目につくことがあります。下記のような植物(シカが嫌いな植物)が多い場合は、増えすぎたニホンシカによる食害が深刻です。



マツカゼソウ



アセビ(花期は春)



タケニグサ



ウリハダカエデ



レモンエゴマ



ダンドボロギク



ナンキンハゼ



マムシグサ

秋の終わりに活動する虫

秋の深まりとともに気温が低くなると多くの昆虫は越冬準備に入りますが、フユシャクの仲間は成虫期を迎え、交尾します。



メスは翅が退化して、飛ぶことは出来ませんが、フェロモンを出して、オスを呼び寄せます。